

十分検討した結果、将来的に市政発展のための重点施策へ広く活用できるよう財政調整基金への積み立てを指示した。

### 策 対 犯 防

## 地域公民館の安全対策について

加藤 誠一  
(黎明21)

**問** 地域公民館における盗難や不審者出没等の発生状況は。また、職員1人勤務の際の対策など、地域公民館と職員を犯罪から守るための方策はどのように講じているのか。

**答** 公民館への侵入・盗難事件は平成25年に星河、27年に北河原、28年1月に星宮の3公民館で発生し、いずれも金品被害よりガラス破損等の被害が主である。不審電話は平成26年9件、27年11件で、不審者出没は平成25年、27年に発生している。職員1人勤務は月7日ほどあるが、非常勤特別職や臨時職員の勤務日の見直し等で改善に努めるとともに、不審電話等には警察官の周辺パトロール、青パトの立寄り等により対応している。

●訪日外国人旅行者取込施策

**問** 訪日外国人旅行者を取り込み、観光振興や地域活性化につなげる施策、案内看板やパンフレットの多言語化等インフラの整備。また、観光資源を外国人の視点で新たに発掘・再構築する取り組みが必要と考えるが、どうか。

**答** ラグビーワールドカップや、東京オリンピックの開催を観光振興と地域活性化の絶好機と捉え、外国人モニターツアーの実施等により外国人向けの情報発信を効果的に行っていく。さらに、外国語観光ボランティアの育成、パンフレットの充実、多言語対応観光アプリの作成など環境整備を進めていく。



外国人向け観光パンフレット

### 教育行政

## 少人数学級 編制事業

松本 安夫  
(黎明21)

**問** 少人数学級編制事業は、ただ行っているだけでは済まない。その成果はどうか。

**答** 不登校やいじめ等大きく改善している。学力について数値等で示すことは難しい。

**問** 教員数を増やせば質は低下する理の当然である。質の低下は家庭教育に手が回らない貧困層等に影響が出るが。

**答** 教員の質の低下は全ての児童・生徒にマイナスとなるため、教員の研修強化を図る。

**問** 慶大の調査分析で、学級規模の縮小が学力向上に効果がないとしているが、見解は。

**答** 学級規模の縮小と学力の相関関係について表すことは難しいものと考えている。

●全国学力テストについて

**問** 教育委員会の取り組み、学力は二の次で良いのか。

**答** 学力向上は教育委員会の最重要課題と考えている。

**問** 最重要課題としながらも

学力向上がない。何が問題か。

**答** 学力テストも大事だが、一喜一憂すべきでないと考えられる。ただ今回の学力テスト結果は重く受け止めている。

**問** 教育水準の高さは自治体の誇りであるとともに、魅力でもある。本市には、親が子どもに学ばせたいと思える教育環境が整っていると考えるが、どうか。

**答** 教育水準の高さを保障することは子どもや市民が願っていることと認識している。

〔その他の主な質問〕

○公共施設の最適化について

**まちづくり**

安心・安全なまちづくりに  
ついて

野口 啓造  
(黎明21)

●須加大橋右折レーン設置

**問** 市長が副会長の足利鴻巣線新設整備促進同盟会では、「歩行者空間の確保及び交差点の早期改良」を実現するために毎年要望活動を行っている。特に、羽生妻沼線は市民や地元の人たちが一番使用している。要望活動の経過、県

からの報告、通知の状況、見直し、耐震性の状況は。

**答** 県土整備事務所では、交通渋滞の改善策として須加大橋の右折レーンの必要性を認めている。また、耐震性に問題はなく、状況に応じて補修等を行うこととしている。

●武蔵水路管理用道路の延伸

**問** 道路と水路の間に2メートルの歩道が整備されたが、沈砂池の東側約500メートルが未整備である。県に対し強く要望できないのか。

**答** 歩道設置は、安全性の確保及び回遊性の向上につながることから、須加大橋の架けかえを含め、同盟会を通じ県に対して強く要望する。

●通学路の防犯灯について

**問** 設置希望が大変多いと聞いているが、今後の見直しと設置するまでの対応、未設置箇所での事件等の状況は。

**答** 平成27年度における不審者等の情報は26件ある。対応としては、警察等と十分な連携を図り学校や保護者に情報提供している。防犯灯の設置は、各学校が自治会と連携し必要性の高い場所から設置するように指導する。